

# 平成25年度病害虫発生予報第11号(2月予報)

<今月のコラム> 早期ロータリーによるケブカアカチャコガネの防除について  
ニンガチ・カジマーイ(二月風廻り)

<お知らせ> イネヨトウの性フェロモントラップへの誘殺数の推移について以下URLに掲載しております。  
<http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/byogaichubojou/documents/h25-ineyo.html>

## 今月のトピックス

## チャノキイロアザミウマ (マンゴー) 学名: *Scirtothrips dorsalis*



成虫



マンゴー葉上の成虫



果皮のかさぶた状の被害



2齢幼虫



1齢幼虫



被害を受けた新葉

## 生態と被害

本種は難防除害虫であるアザミウマ類の一種であり、体長は成虫約0.8mm、幼虫は約0.3~0.8mmであり、アザミウマ類の中では小型である。体色は1齢幼虫は乳白色、成虫と2齢幼虫は黄色であり、成虫では閉じた前翅により背部中央が黒く筋状に見える。本種には在来系統と新規系統が存在し、在来系統はチャや果樹の害虫として知られており、木本性植物を中心に幅広く寄生する。一方で、近年新たに確認された新規系統はナス科植物に寄生するなど、在来系統の寄主植物以外にも寄生する。本県ではピーマン、マンゴー、トウガラシ、チャ、ブドウ等で新規系統の発生が確認されている。在来系統と新規系統の形態上の区別は不可能であり、遺伝子診断を必要とする。

マンゴーでは新梢や新葉、花、幼果に発生し、口針を組織に刺して吸汁加害する。被害を受けた葉は黄変・硬化し、被害が甚だしい場合は褐変し巻き上がり、落葉する。幼果が被害を受けると肥大とともに果皮がかさぶた状に褐変し、商品価値を著しく低下させる。

<http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/byogaichubojou/index.html>